

花が咲いてから実になるまでの日数を、複数の花で記録しよう

期間目安	2週間	費用目安	低
研究タイプ	観察	対象学年	中学生（1人〜グループOK）

1. この研究のねらい

花が咲いてから小さな緑色の実（結実）になるまで何日かかるのかを、複数の花に印をつけて2週間かけて記録します。

2. 仮説を立てよう

実験・調査の前に、自分なりの予想を立てておきましょう。例えば：

- 気温が高い時期の方が早く実になるのではないかな
- 花によって結実までの日数にばらつきがあるのではないかな

ポイント：予想が外れても問題ありません。「なぜ予想と違ったのか」を考えることが自由研究の面白いところです。

3. 準備するもの

- 開花中の株
- 花に印をつけるための紐やリボン
- 記録シート
- カメラ

4. 進め方（2週間プラン）

1週目	開花した花に印をつけて観察を始め、数日おきに状態を確認する
2週目	結実するまで観察を続け、日数をまとめる

5. 記録シートの例

花の番号	開花日	結実日	経過日数	気温

※このフォーマットを1回分として、記録のたびに行を増やしていきましょう。

6. 進めるうえでの注意点

- 複数の花を追跡すると平均を出しやすい
- 印をつける際は花を傷つけないよう注意する

7. まとめ方・考察のポイント

- 結実までの日数と気温の関係をまとめる
- 花ごとのばらつきの理由を考察する

8. レポートの構成例

- 表紙：研究テーマ、氏名、学年、日付
- 研究の目的・きっかけ：なぜこのテーマを選んだか、何を知りたいか
- 仮説：実験・調査前に立てた予想
- 準備したもの・方法：使った道具・材料、実験や調査の手順
- 結果：記録表、写真、グラフなど
- 考察：結果からわかったこと、仮説との比較、理由の推測
- まとめ・感想：研究を通して学んだこと、次にやってみたいこと

8. 参考にした資料：本やウェブサイトなど（あれば）